

式辞

色とりどりの花が咲き誇り、生命の躍動感を感じる季節となりました。

本日、ここにPTA会長予定者の山口浩二（やまぐち こうじ）様、西端小学校長の榊原純子（さかきばら じゅんこ）様のご臨席を賜り、令和八年度入学式・始業式が挙行できますことは、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。（礼）

さて、すがすがしい春風が吹き抜ける今日のよき日に、希望に満ちた六十五名の新入生を迎えることができ、たいへんうれしく思います。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。西端中学校へようこそ。

先ほどは緊張しながらも、立派に返事をする姿、今背筋を伸ばして一生懸命話を聞こうとする姿に、これから始まる中学校生活への意気込みを感じています。

中学校生活をスタートするにあたり、皆さんは学んでみたいことややってみたいことで胸がいっぱいだと思います。そこで、この中学校の三年間をより充実したものにするために、大切にしてほしいこととお話します。

それは、「+1」の頑張りです。

授業、部活動、学校行事などを通じて、身も心もどんどん成長できるのが中学校です。それらの時間の中で、自分で「これを頑張ろう」と思うものを決めてみてください。

「復習をしやすいするために今日のノートはきれいに仕上げよう」「少し難しい問題に挑戦してみよう」「話し合いでは友達よりも先に発言しよう」こんなふうに六時間の授業で一つずつ頑張れば、一日で「+6」です。

授業だけではありません。「登下校ですれ違う人にもあいさつしよう」「トイレのスリッパを全部そろえてから出よう」「給食は残さず全て食べよう」「掃除では汚れを見つけられるように集中しよう」「部活動では先輩をよく見て技を盗もう」など、生活の中でもレベルアップできます。毎日コツコツやっていけば、三年間でもものすごく大きく成長できます。薄い紙を一枚一枚重ねていくように、ほんの小さなことからでいいのです。「+1」を心がけてみてください。

もうひとつは、「+1」の思いやりです。

学校には友達だけでなく、先輩、先生方、部活動のコーチなど多くの方がいます。自分と全く同じ人はいません。いろいろな人がいるからこそ、新しい発見があっておもしろいのです。しかし、違うからこそ、時にぶつかったり、傷つけてしまったり、悲しんだりすることがあります。そこで、「+1」の思いやりも実践してほしいのです。

小学校でも学んだ「ふわふわ言葉」をあいさつに一言添えると温かい気持ちになります。これも「+1」。元気のない友達に「どうしたの？」と声をかけるのも「+1」。混雑しているところで「お先にどうぞ」も「+1」。相手を大事にするということは、こういうことだと私は思います。

今朝、昇降口でスリッパをかばんから出すのに手間取っている友達の荷物をさりげなく持ってくれた人がいます。初日から「+1」の思いやりを発見できて、私の心は温かくなりました。一人ひとつの思いやりでも、一年生全員で「+65」。すてきな学年になりそうな予感がします。

学校生活がすべて順調にいくわけではありません。悩んだり困ったり苦しんだりすること

があります。そんなときは、ひとりで抱え込まず、先輩や友達に相談してください。優しく教えてくれます。先生やスクールカウンセラー、心の教室相談員さんにいつでも相談してください。一人一人に合ったアドバイスがいただけます。その助言を基に、最後は自分の力で困難を乗り越えていきましょう。それが、大人になる準備となります。学校は楽しいところでなければなりません、ときには、奥歯をくいしばってがんばるところでもあります。

ところで、本日は1学期の始業式も兼ねていますので、在校生の諸君にも少し話をします。二・三年生の諸君、進級おめでとうございます。

三年生は最上級生として、二年生は学校の中核として、新たな気持ちでいるところだと思います。学習においても運動においても、上級生として尊敬されるよう、自分に厳しく、他の人を思いやれる優しい上級生であってほしいと思います。充実した中学校生活が送れるように諸君も「+1」を心掛けていきましょう。

この一年、西中生の諸君が、各自の目標に向かって元気に健やかに成長していくことを期待します。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。(礼) 中学校入学という節目を迎えられ、感慨もひとしおのことと存じます。

私ども教職員一同、お子様のご入学を、心よりお待ちしております。これからの三年間は、大人になるための自立が始まる大切な時期です。学校生活を通し、お子様の可能性を最大限に引き出し、広げられるよう精いっぱい努めてまいります。時には成長を期待し、敢えて負荷をかける場面もあります。ともするとお子様が家に帰って弱音を吐いたり、悩みを吐露したりするかもしれません。その時は、どうかお子様の可能性を信じ、お子様を一番身近なところで支え、困難に立ち向かわせていただけるとありがたいです。多感な中学時代にあって、家庭と学校の間にはしっかりした信頼関係がなければ、教育は成り立ちません。共に手を携え、充実した三年間を創り出してまいろうと思います。

結びに私どもは、全力で生徒が「行きたくなる学校」、保護者の皆様が「通わせたい学校」、そして地域の方が「誇り」にできる学校をめざし、努力してまいります。何卒、本校の教育活動にご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和八年四月九日

碧南市立西端中学校長 杉浦 哲